

テーマを決めよう(何について調べるか)

テーマは好きなことにしよう

不思議なことはたくさんありますが、そのなかでも自分が興味のあること、そして自分で調べられそうなことをテーマにします。自分の好きなことを調べるのは楽しいし、調べて分かったことをだれかに知らせたくなります。

テーマの決め方

「これを調べたい！」と思うようなはっきりとしたきっかけがないときには、こんな決め方があります。

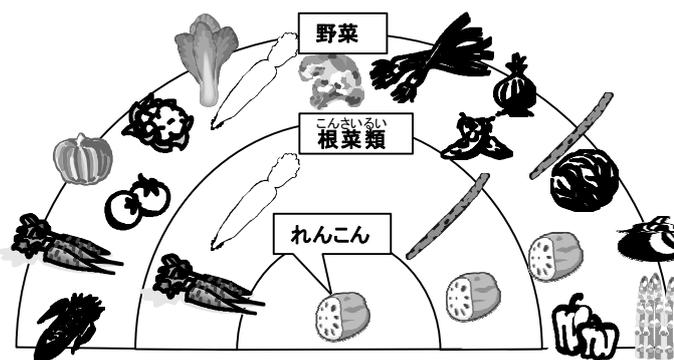
◆テーマを絞る…調べたいことを見つけるために、テーマを3つ決めよう。

- ① まず、大きいテーマを決めます。
- ② 百科事典を引いて、その説明の中から2番目のテーマ(中テーマ)を決めます。
- ③ 3番目のテーマ(小テーマ)は、自分で考えます。
(2番目のテーマに関係があって、自分が興味を持ったこと)



大きく、広すぎるテーマから、より具体的で小さいテーマに絞っていきましょう。

～たとえばこんなふうに～



①「野菜」



②「根菜類」



③「れんこん」

まず、百科事典を引こう。

「野菜」をひくと、野菜は、
葉菜類、果菜類、根菜類、
花菜類、茎菜類に分けられてい
ることがわかった。

「根菜類」にふくまれるものは、
ダイコン、ニンジン、サツマイモ、
ゴボウ、れんこんなど。

「れんこん」のどんなこと
について知りたいか考えてみる…

※大・中・小3つのテーマは、関係する
ことばでないといけません。

「野菜」→「根菜類」→×「パイナップル」



◆自分だけのテーマを決めよう

3番目のテーマを「れんこん」に絞ったら、最後に「れんこん」の何について調べるか考えましょう。

大きなテーマから小さなテーマに絞り、「次はいよいよ自分のテーマを決めるぞ！」というときのコツは、最後に「？」がつくようにすることです。

そのためには、

- いつ？ どんなときに？
- だれが？ どんな人が？
- どこで？ どこに？どこへ？どこから？
- 何を？ どんなこと(もの)を？
- どうやって？ どのように？
- いくつ？ どれくらい？
- どうして？ 何のために？

を考えると良いでしょう。

また、このときも、もう一度キーワードでつないでいくと考えやすいです。

【例】 「れんこん」⇨「糸をひく」⇨「どうして？」

「れんこんはどうして糸をひくの？」

これが自分だけの
テーマがです！

👉 チェックポイント

- ・ はっきりとした動機どうきがあって、すでにテーマが決まっているときは、テーマを3つ決める方法は必要ありません。しかし、決めたテーマが大きすぎるときなど、具体的なテーマを見つけるのに便利な方法です。
- ・ 最後に「？」がついていない人は、◆自分だけのテーマを決めように戻って考えましょう。

◆調べられない場合は・・・

調べてみて途中で自分にできないと分かった場合(たとえば、資料しりょうを手に入れるのが難しいむずかときや、実験じっけんするのに高い費用ひようがかかるときなど)は、できそうな別のテーマに変えることも大切です。一通り調べたうえで、できないと分かったのだから、反対に自分にできそうなことも分かってくるはずです。

調べていたらもっとおもしろそうなテーマを見つけた！というときも、テーマを変えると良いでしょう。

新聞やTVのニュース、身の回りの人との会話の中などからも、次々に新しい疑問(テーマ)がうまれることでしょう。ふだんから、さまざまなことに興味を持つようにすると良いですね。

